



レースシーンから得たノウハウが詰まったオリジナルのエキゾーストシステムを採用。乾いた音質が魅力のマフラー



M2のメーターを取り払って、S1から移植されたメーターキット。ホワイト地のタコとスピードメーターがレーシングイメージを高める



フロントフォークはX1のものを装着。走りの質を向上させている



M2をベースにメーター、カウル、シートなどをS1から、リヤフェンダー、フェンダーレスキット、ベルトカバー、フロントフェンダーなどが、レインボーオリジナルのパーツで構成される。フレアーを描いたカラーリングも見事にイメージにマッチングしている

M2ベースのコンプリート車

取材協力/ハーレーダビッドソンレインボー TEL0298-22-6666

RAINBOW M2

茨城県土浦市にあるハーレーダビッドソンとビューエルのディーラーであるレインボー。スポーツスターカップへの出場で積極的なレース参戦からレースカラーの色濃いショップであるそんなレインボーは今年、MT-1にビューエルで参戦それを機にS1をベースにしたコンプリートマシンを仕上げてきた

レインボーでは、スタッフの天田昭治さん自らスポーツスターレースに参戦。シリーズチャンピオンになるなど、積極的にレース活動に挑戦してきた。スポーツスターのスポーツ性能を、強くアピール。ストリートバイクではない、レーシングシーンの新しい魅力を広めることとなった。

そして、今年から、イベントレースの人気部門であるMT-1クラス(モディファイドツイン)にビューエルで参戦することが決定した。ここで紹介するのは、そんなレインボーのビューエルでのレース参戦に合わせて、コンプリートモデルの発売を予定しているレインボーM1Wである。

M2をベースにして、メーター、カウル、シートをS1から移植。そしてレインボーの誇るオリジナルパーツ、カーボンリヤインナーフェンダー(3万6000円)、フェンダーレスキット(価格未定)、ベルトカバー、フロントフェンダー(3万6000円)などが装着されている。

また、フロントフォークにはX1のものが装着されているが、これはコンプリートキットには予定されていない。エンジンも1001ps仕様とノーマル、さらにその上の仕様も用意される。発売時期は決定していないが、楽しみなコンプリート車両である。



ゴールドのRAINBOWとフレアーが描かれたハデなカラーリングは、強烈なアピールとなっている。フレアーの似合うビューエルはやはりアメリカンスタイルだ

HIGUCHI M2 イケてる2本出しショートマフラー

アメリカ製のパーツには個性的なモノが多い
そこに注目し製作されたM2は、独特な雰囲気を漂わせている



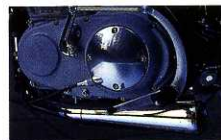
代表の樋口高利さんは、これからはアメリカのパーツをメインに展開していきたいと語る

マフラーにはアメリカ製の個性的なデザインのバグ製ハットドッグマフラーをチョイス。2本出しのこのマフラーは、めずらしいメガホンタイプでマシンに装着するとポデイ真下にメガホンサイレンサーが2本配置され、スタイルもかなり刺激的なものとなる。ビューエルの特徴的なウインドシールドも取り外され、オリジナルテイ溢れる仕上がりを見る。

ビットイン樋口のM2は、スタイリングで遊ぶ、というコンセプトでM2カスタムを始めたというだけあって、かなり個性的である。



直線を基調にしたデザインの個性的な2本出しマフラーを装着



サイレンサーには、めずらしいメガホンタイプを採用している

取材協力/ビットイン樋口 TEL048-642-6345



ウインドシールドを取り外して軽快なイメージ。違和感のないようにヘッドライトは上方に持ち上げられている